

## 東北における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）

研究協力者：太田貴（やろっこ）

### 研究要旨

計 153 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 28 件、WEB での配布が 125 件であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは対面配布 23 件（82.1%）、WEB での配布が 97 件（77.6%）の総計 120 名（78.4%）であった。

HIV 陽性件数は 2 件、梅毒の陽性件数は 11 件（既感染も含む）であり、重複感染が 1 件であった。郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 22 名においては、30 歳未満が 22.7%を占めた。東北地域の居住者が 100.0%であった。生涯初の検査経験割合は 22.7%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 68.2%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 45.4%を占めた。WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 58 名においては、30 歳未満が 27.6%を占めた。東北地域の居住者が 100%であった。生涯初の検査経験割合は 24.1%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 53.4%であった MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 62.1%を占めた。

対面配布と WEB 配布の受け取り者に大きな差異はみられず、検査ニーズの高い MSM に届いていたと考えられる。

#### A.研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年からの新型コロナウイルス感染症パンデミックに伴い、保健所での検査提供は以前縮小、落ち込みが続いている。この減少を埋める

ためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

東北地域では、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査をコミュニティセンター ZEL での配布と WEB にて配布を行った。

#### B.研究方法

コミュニティセンター ZEL では、本ゆうそう検査に関する説明事項を含むメッセー

ジをやるっこの公式 HP、ポスター、4 種類の SNS、ブログ、フリーペーパーと公式 Twitter 等の SNS で配信した。またゲイ向けアプリの起動時広告も活用した。また北海道地域とも連携し、アプリ広告を活用した広報を行った。

検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケート QR コードを提示し、自分のスマートフォンから答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関して説明をして、最後に受け渡す方法をとった。

また、インターネット上の広報からアンケートページにつなぎ、その後、郵送検査の自宅・郵便局での受け取りのページに進める WEB 完結型の方法を併用した。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

## C.研究結果

### 1) 検査キットの配布日・配布件数

#### ①対面配布

2022 年 10 月 14 日から 10 月 25 日

配布キット数 28 セット (郡山 0 件、盛岡 1 件、山形 3 件、仙台 24 件)

#### ②WEB 配布

2022 年 10/16(日)~11/15(火)

配布キット数 125 セット

受け取り方法：自宅か便局で受け取り

なお、仙台的対面配布で陽性となった受検者より治療に繋がったと報告が得られた。

### 2) 検体の送付状況とアンケートの結果

総計 153 キットを配布した。コミュニテ

ィセンターでの対面配布 28 件、WEB での配布が 125 件であった。

アンケートに回答し有効回答であったものは 164 名であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは対面配布 23 件 (82.1%)、WEB での配布が 97 件 (77.6%) の総計 120 名 (78.4%) であった。

HIV 陽性件数は 2 件、梅毒の陽性件数は 11 件 (既感染も含む) であり、重複感染が 1 件であった。

表 1 郵送検査利用者の概要

	地域	東北
	CBO	やろっこ
	コミュニティセンター	ZEL
a 配布数		153
対面配布数		28
WEB配布数		125
b 受検者アンケート回答者数		164
c 利用者数; 郵送検査会社での受付数		120
対面配布数(c対面/a対面)		23 ( 82.1%)
WEB配布数(cWEB/aWEB)		97 ( 77.6%)
利用率計; 配布数に占める利用者数(c/a)		78.4%
d 結果確認者数; 結果画面のログイン記録 (割合 d/c)		115 ( 95.8%)
<b>抗体検査結果</b>		*重複感染 (1名)
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		2 ( 1.7%)
f 陽性数 (割合 f/c)		2 ( 1.7%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		0.9 ( 0.8%)
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		4 ( 3.3%)
h 陽性数 (割合 h/c)		11 ( 9.5%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		5.8 ( 5.0%)
i 追跡可能者数; 無料ID利用者数 (割合 i/c)		80 ( 66.7%)
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)		79 ( 65.8%)
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)		50 ( 41.7%)

\* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に乘じて求めた。

\*\* すべての集計より再受検の重複は除いた。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 22 名においては、30 歳未満が 22.7%を占めた。東北地域の居住者が 100.0%であった。生涯初の検査経験割合は 22.7%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 68.2%であった。MSM 対象の予防啓発やコ

コミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は45.4%を占めた。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 58 名においては、30歳未満が27.6%を占めた。東北地域の居住者が 100%であった。生涯初の検査経験割合は 24.1%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 53.4%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 62.1%を占めた。

#### D.考察

今年度も新型コロナウイルスの影響で、保健所での HIV 検査件数が減少し、定期的に保健所で検査を受けていた人が、キットを受け取りに来ることがあった。

会場配布は 28 件であった。今年度は 4 地域に会場を設定し、対面配布を実施でき、ZEL 利用者のみならず、初めて検査を受検する人もいた。キット受け取り者からは、保健所の検査が休止しているので検査を受けられずにいたのでありがたいとの声や WEB 配布ではとりあえず受け取っておいて、期限ギリギリまで使わないという行動も見られた。

また東北地域は広範囲であるため、会場へのアクセスにも課題がある。そのため、自宅・郵便局受取りのニーズが高いことが明らかとなった。

またこの配布の機会を通じて、キット受け取り者の多様な相談対応につながった。具体的には、PrEP、U=U、陽性判明時の相談、梅毒の治療などの相談が寄せられた。

このほかに仙台市市民協働による HIV・性感染症予防啓発及び検査受検促進事業にも協力しており、広報等を担当している。

10月16日の男性限定検査イベント in 仙台では受検者数は 22 人であり、仙台市のゆうそう検査の利用者数は 153 人となり、令和 3 年度仙台市の HIV 受検者数に占める MSM 割合は 17.5%と過去最高となった。

#### E.結論

広域地域である東北地域で、ゆうそう検査キットの配布を実施した。ゆうそう検査キットをほぼ計画通りに実施できた。特に WEB での申し込み、郵便局での受け取りニーズが高いことが明らかとなった。対面配布と WEB 配布の受け取り者に大きな差異はみられず、検査ニーズの高い MSM に届いていたと考えられる。

#### F.研究発表

##### 1.論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020.DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一

考察-ハッテン場利用経験のある女装者2名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.

- 4) 金子典代,塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体のHIV検査の取り組みと意義. 日本エイズ学会誌,22(3), 136-146,2020.

イズ学会 2022年 浜松.

- 3) 塩野徳史. コミュニティと予防介入の新たな戦略. 日本エイズ学会 2021年 東京.  
4) 塩野徳史. HIV 予防とヘルスリテラシー. 日本エイズ学会 2020年 千葉.

## 2.学会発表 (国内)

- 1) 塩野徳史.日本のセクシュアルヘルスと予防啓発 -社会が担う役割-.日本エイズ学会 2022年 浜松.  
2) 塩野徳史. コミュニティにおけるコンドーム使用行動と PrEP 利用. 日本エ

## G.知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

- 1.特許取得 なし  
2.実用新案登録 なし  
3.その他 なし

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	アンケート		ID使用				ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ		対面配布		WEB配布		対面配布			
配布CBO										
やろっこ/ZEL (東北)	84	100.0%	22	100.0%	58	100.0%	39	100.0%	203	100.0%
年齢階級										
29歳以下	28	33.3%	5	22.7%	16	27.6%	12	30.8%	61	30.0%
30-39歳	22	26.2%	10	45.5%	19	32.8%	11	28.2%	62	30.5%
40-49歳	23	27.4%	4	18.2%	16	27.6%	9	23.1%	52	25.6%
50-59歳	11	13.1%	2	9.1%	6	10.3%	5	12.8%	24	11.8%
60歳以上	0	0.0%	1	4.5%	1	1.7%	2	5.1%	4	2.0%
合計	84	100.0%	22	100.0%	58	100.0%	39	100.0%	203	100.0%
性別										
男性	84	100.0%	22	100.0%	58	100.0%	38	97.4%	202	99.5%
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	0.5%
合計	84	100.0%	22	100.0%	58	100.0%	39	100.0%	203	100.0%
居住地										
北海道	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
東北	84	100.0%	22	100.0%	58	100.0%	26	92.9%	190	99.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.1%	2	1.0%
合計	84	100.0%	22	100.0%	58	100.0%	28	100.0%	192	100.0%
セクシュアリティ										
ゲイ (男性同性愛)	59	70.2%	17	77.3%	40	69.0%	22	78.6%	138	71.9%
バイセクシュアル	21	25.0%	4	18.2%	17	29.3%	5	17.9%	47	24.5%
その他	4	4.8%	1	4.5%	1	1.7%	1	3.6%	7	3.6%
合計	84	100.0%	22	100.0%	58	100.0%	28	100.0%	192	100.0%

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	アンケート		ID使用				ID不使用		合計	Pearson カイ2乗	
	回答のみ n=84		対面配布 n=22		WEB配布 n=58		対面配布	WEB配布			
国籍											
日本	82	97.6%	21	95.5%	54	93.1%			157	95.7%	0.42
アジア	2	2.4%	1	4.5%	4	6.9%			7	4.3%	
欧米	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか？（年度により質問対象を変更したため、総数と異なる）											
中心市街地	40	47.6%	6	27.3%	19	32.8%			65	39.6%	0.29
郊外住宅地	34	40.5%	14	63.6%	32	55.2%			80	48.8%	
農村地域・漁村地域	9	10.7%	1	4.5%	6	10.3%			16	9.8%	
山間部	1	1.2%	1	4.5%	1	1.7%			3	1.8%	
離島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
居住形態											
独居	47	56.0%	10	45.5%	34	58.6%			91	55.5%	0.57
同居	37	44.0%	12	54.5%	24	41.4%			73	44.5%	
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？											
ある	59	70.2%	17	77.3%	44	75.9%			120	73.2%	0.68
ない（今回が初めての検査）	25	29.8%	5	22.7%	14	24.1%			44	26.8%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？											
ある	34	40.5%	7	31.8%	27	46.6%			68	41.5%	0.47
ない	50	59.5%	15	68.2%	31	53.4%			96	58.5%	
過去1年の受検場所（複数回答）											
保健所	14	16.7%	1	4.5%	4	6.9%			19	11.6%	0.18
病院/クリニック	3	3.6%	0	0.0%	2	3.4%			5	3.0%	0.75
郵送検査	24	28.6%	5	22.7%	23	39.7%			52	31.7%	0.55
その他	0	0.0%	2	9.1%	1	1.7%			3	1.8%	0.06
1年間にない	25	29.8%	10	45.5%	17	29.3%			52	31.7%	
これまでにない	25	29.8%	5	22.7%	14	24.1%			44	26.8%	
過去1年間に、各地域でNGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか？											
受け取っていない	59	70.2%	16	72.7%	41	70.7%			116	70.7%	0.26
受け取ったけど、利用していない	3	3.6%	2	9.1%	0	0.0%			5	3.0%	
受け取って、利用した	22	26.2%	4	18.2%	17	29.3%			43	26.2%	
過去6か月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）											
ゲイバー	21	25.0%	11	50.0%	16	27.6%			48	29.3%	0.07
ゲイイベント	3	3.6%	6	27.3%	2	3.4%			11	6.7%	<0.01
ゲイショップ	5	6.0%	2	9.1%	1	1.7%			8	4.9%	0.32
有料のハッテン場	19	22.6%	12	54.5%	12	20.7%			43	26.2%	<0.01
野外のハッテン場	19	22.6%	4	18.2%	10	17.2%			33	20.1%	0.71
いずれもない	45	53.6%	4	18.2%	29	50.0%			78	47.6%	0.01
過去6か月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために、以下のSNSや掲示板を利用しましたか？（複数回答）											
Twitter	29	34.5%	11	50.0%	21	36.2%			61	37.2%	0.40
Instagram	6	7.1%	1	4.5%	1	1.7%			8	4.9%	0.34
VERO	2	2.4%	1	4.5%	1	1.7%			4	2.4%	0.77
9monsters	72	85.7%	18	81.8%	46	79.3%			136	82.9%	0.60
Men's Net Japan	8	9.5%	0	0.0%	4	6.9%			12	7.3%	0.31
KO-MENSTV	19	22.6%	1	4.5%	9	15.5%			29	17.7%	0.12
その他	5	6.0%	1	4.5%	4	6.9%			10	6.1%	0.92
いずれもない	5	6.0%	1	4.5%	7	12.1%			13	7.9%	0.34
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？											
よく知っている	18	21.4%	5	22.7%	3	5.2%			26	15.9%	0.21
少し知っている	24	28.6%	7	31.8%	19	32.8%			50	30.5%	
あまり知らない	34	40.5%	7	31.8%	29	50.0%			70	42.7%	
全く知らない	8	9.5%	3	13.6%	7	12.1%			18	11.0%	
過去6か月間に男性とセックスをしたことがありますか？											
ある	72	85.7%	21	95.5%	56	96.6%			149	90.9%	0.06
ない	12	14.3%	1	4.5%	2	3.4%			15	9.1%	

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動・予防行動

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗	
	回答のみ n=72		対面配布 n=21	WEB配布 n=56	対面配布	WEB配布			
過去6か月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）									
彼氏や恋人	12	16.7%	4	19.0%	16	28.6%	32	21.5%	0.26
友達やセクフレ	46	63.9%	15	71.4%	34	60.7%	95	63.8%	0.68
その場限りの相手	40	55.6%	11	52.4%	25	44.6%	76	51.0%	0.47
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	1	0.7%	0.43
過去6か月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか？									
ある	61	84.7%	15	71.4%	45	80.4%	121	81.2%	0.38
ない	11	15.3%	6	28.6%	11	19.6%	28	18.8%	
過去6か月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか？									
ある	23	31.9%	12	57.1%	14	25.0%	49	32.9%	<b>0.03</b>
ない	49	68.1%	9	42.9%	42	75.0%	100	67.1%	
過去6か月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか？									
ある	12	16.7%	5	23.8%	11	19.6%	28	18.8%	0.75
ない	60	83.3%	16	76.2%	45	80.4%	121	81.2%	
過去6か月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？									
ある	0	0.0%	1	4.8%	2	3.6%	3	2.0%	0.23
ない	72	100.0%	20	95.2%	54	96.4%	146	98.0%	
過去6か月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？									
ある	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	1	0.7%	<b>0.05</b>
ない	72	100.0%	20	95.2%	56	100.0%	148	99.3%	
過去6か月間に、セックスのときにドラッグ（ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）を使用したことがありますか？									
ある	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
ない	72	100.0%	21	100.0%	56	100.0%	149	100.0%	
過去6か月間のコンドーム使用状況									
非常用	58	80.6%	14	66.7%	42	75.0%	114	76.5%	0.40
常用	14	19.4%	7	33.3%	14	25.0%	35	23.5%	

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗	
	回答のみ n=84		対面配布 n=22	WEB配布 n=58	対面配布	WEB配布			
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか？									
とてもよく知っている	18	21.4%	6	27.3%	15	25.9%	39	23.8%	0.60
聞いたことはある	54	64.3%	11	50.0%	37	63.8%	102	62.2%	
まったく知らない	12	14.3%	5	22.7%	6	10.3%	23	14.0%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したいと思いますか？									
服薬したくない/どちらかといえば	16	19.0%	9	40.9%	11	19.0%	36	22.0%	0.11
服薬したい/どちらかといえば	63	75.0%	13	59.1%	46	79.3%	122	74.4%	
HIV陽性/無効	5	6.0%	0	0.0%	1	1.7%	6	3.7%	
過去6か月間に「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したことがありますか？									
ない	69	82.1%	21	95.5%	53	91.4%	143	87.2%	0.32
ある	10	11.9%	1	4.5%	4	6.9%	15	9.1%	
HIV陽性/無効	5	6.0%	0	0.0%	1	1.7%	6	3.7%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか？（複数回答）									
梅毒	5	6.0%	4	18.2%	4	6.9%	13	7.9%	0.16
A型肝炎	0	0.0%	2	9.1%	0	0.0%	2	1.2%	<b>&lt;0.01</b>
B型肝炎	4	4.8%	1	4.5%	3	5.2%	8	4.9%	0.99
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
クラミジア	5	6.0%	3	13.6%	6	10.3%	14	8.5%	0.43
尖圭コンジローマ	4	4.8%	1	4.5%	4	6.9%	9	5.5%	0.84
淋病	7	8.3%	2	9.1%	4	6.9%	13	7.9%	0.93
HIV感染症	5	6.0%	0	0.0%	1	1.7%	6	3.7%	0.26
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	
毛じらみ	13	15.5%	6	27.3%	11	19.0%	30	18.3%	0.44
性器ヘルペス	2	2.4%	0	0.0%	1	1.7%	3	1.8%	0.76
その他	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	1	0.6%	<b>0.04</b>
いずれもない	54	64.3%	12	54.5%	36	62.1%	102	62.2%	0.70

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 事後アンケートの結果

アンケート 回答のみ	ID使用		ID不使用		合計 n=78	Pearson カイ2乗
	対面配布 n=14	WEB配布 n=36	対面配布 n=28	WEB配布 n=28		
事後アンケート この検査キットをどこで受け取りましたか？ (R5年度)						
コミュニティセンターで	10 71.4%	0 0.0%	1 3.6%		11 14.1%	<0.01
デジタル・ディスペンサーで	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	
検査キット配布会場で	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%		2 2.6%	
インターネットのWEBページで	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%		1 1.3%	
商業施設・ゲイ向けイベント等で	0 0.0%	35 97.2%	26 92.9%		61 78.2%	
その他	0 0.0%	1 2.8%	1 3.6%		2 2.6%	
無回答	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%		1 1.3%	
事後アンケート 郵送検査キットをこれまでに何回利用したことがありますか？						
今回がはじめて	8 57.1%	10 27.8%	10 35.7%		28 35.9%	0.06
何度か利用した	5 35.7%	26 72.2%	18 64.3%		49 62.8%	
無回答	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%		1 1.3%	
事後アンケート 指先からの採血は簡単でしたか？						
簡単だった	11 78.6%	28 77.8%	22 78.6%		61 78.2%	0.43
どちらでもない	1 7.1%	5 13.9%	5 17.9%		11 14.1%	
難しかった	1 7.1%	3 8.3%	1 3.6%		5 6.4%	
無回答	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%		1 1.3%	
事後アンケート 今回、ゆうそう検査を使ってみていかがですか？理由も教えてください。						
とても満足している	6 42.9%	25 69.4%	19 67.9%		50 64.1%	0.36
まあ満足している	7 50.0%	10 27.8%	8 28.6%		25 32.1%	
あまり満足していない	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%		1 1.3%	
全く満足していない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	
無回答	1 7.1%	1 2.8%	0 0.0%		2 2.6%	
事後アンケート 仮に、今回の検査でHIV抗体検査の結果が「要確認」となった場合、あなたはどうしますか？						
保健所を利用	8 57.1%	26 72.2%	17 60.7%		51 65.4%	0.49
公的な検査機関を利用	0 0.0%	0 0.0%	3 10.7%		3 3.8%	0.12
クリニックを利用	5 35.7%	12 33.3%	8 28.6%		25 32.1%	0.67
何もしない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	3 10.7%		3 3.8%	0.12

# 東北地域MSMを対象 とした予防啓発活動

やろっこ



日時：3月4日（土）13：00～18：00  
3月5日（日）09：30～17：00  
場所：東京都新宿区新宿 4-3-25 TOKYU REIT  
新宿ビル7階 コンフォート新宿

1

## 地域の商業施設数と連携

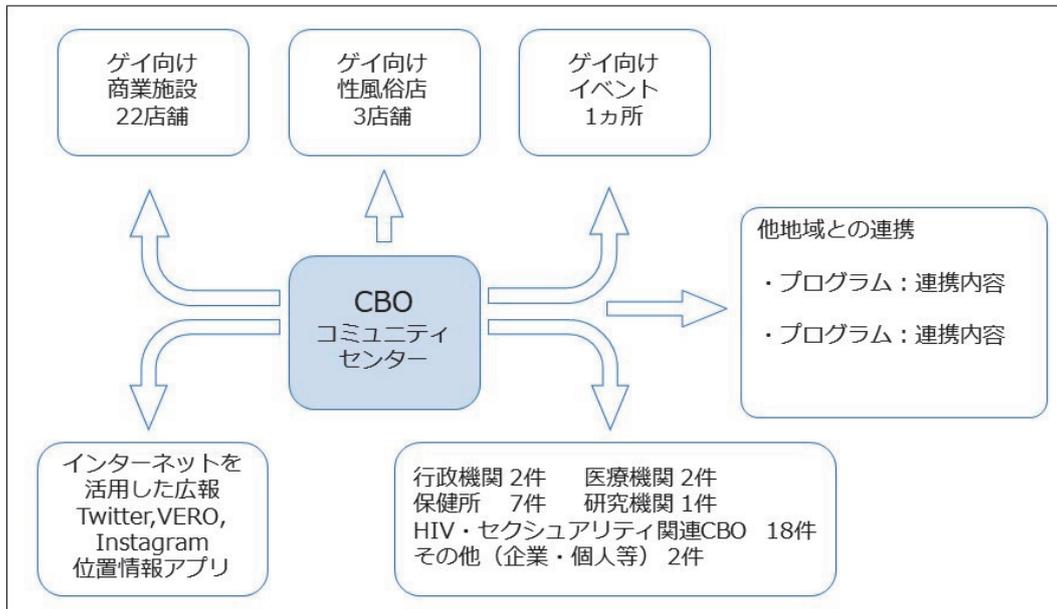
2022年度1月末時点

	地域の店舗数	連携店舗数	備考
ゲイバー	20	19	青森1/1 秋田0/0 岩手3/4 宮城9/9 山形2/2 福島 4/4
有料ハッテン場	2	2	岩手1/1 宮城1/1
ゲイナイト	1	1	福島スキーイベント
ウリ専	2	1	宮城 1/2
ゲイショップ	1	1	宮城 1/1
サウナ・ホテル	1	0	宮城 0/1（福島1店舗閉店）
マッサージ	9	2	青森1/1 秋田0/0 岩手0/0 宮城2/6 山形0/1 福島0/1 （うたたねグループは1店舗 としてカウント。ニューハー フマッサージを除く）
スマホアプリ	不明	2	Blued,9monsters
ウェブサイト	不明	1	G-click
ゲイサークル	不明	0	

2

# 普及啓発活動の状況

2022年度1月末時点



3

# コミュニティセンターの活動状況

2022年度1月まで

運営スタッフ数	: 常勤	1人
	: 非常勤	1人、ボランティア 10人くらい
開館曜日	: 日・月・火・金・土	
開館時間	: 日・祝 15時～20時、平日 18時～22時	
総来場者数*	: 669名 (前年度比 154%)	
初来場者数*	: 82名 (前年度比 241%)	
相談件数*	: 17件 (うち、セクシュアルヘルスに関する相談 10件)	

\*2022年4月～2023年1月まで

センターにおけるプログラムの展開 (カテゴリー/対象年齢) :  
 ZUP (交流会/18歳以上)、Living Together (朗読/全般)、Rainbow Board Game (交流会/全般)、  
 R-35 (交流会/35歳以上)、What's `UP`? (勉強会/全般)、コンドームまつり (展覧会/全般)

4

# コミュニティセンターの活動状況

2022年度1月まで

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	54	104	65	59	55	75	73	70	47	67			669
来場者数 新規	5	14	15	3	3	8	13	7	3	11			82
相談件数	1	1	1	0	1	1	2	3	3	4			17

5

## ZEL UNDERWEAR + MASK PARTY

継続：  
2020年から

プログラムの目的・必要性：

性行動が活発なMSMへのセンターの周知、予防行動の促進

対象となる人：性行動が活発なMSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名・ボランティア4名、支援者から寄贈の景品

実施内容（資材・WEB展開）：

- ①ゲームによる来場者同士の交流
- ②セクシュアルヘルス等の情報提供
- ③セーフターセックスキットの配布



結果：

実施日時) 5/14(日)、9/19(月・祝)、1/14(土)いずれも15:00-17:00  
(今年度の実施予定 3/4(土))

参加者数・配布数)65人(初来場14人)・65セット+コンドーム100個以上  
実施した反応)

14人の初来場につながった。入場時に配布したセーフターセックスキットだけでなく、帰りにコンドームを何種類も持って帰る人が多かった。

6

## Living Together in SENDAI

継続：  
2007年から

### プログラムの目的・必要性：

HIV陽性者やその周囲の人が書いた手記の朗読により、HIV感染症・エイズのリアリティを伝え、いまだに存在する差別、偏見等の解消を図る。

対象となる人：性行動が活発なMSM/HIV陽性者の知り合いがいないMSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名・ボランティア4名

### 実施内容（資材・WEB展開）：

①HIV陽性者やその周囲の人が書いた手記の朗読

②セーフターセックスキットの配布

ZEL UNDERWEAR+MASK PARTYの要素を入れて性行動が活発なMSMを対象として実施。



### 結果：

実施日時) 7/2(土)、11/5(土) いずれも15:00-17:00

参加者数・配布数) 36人(初参加7人)・36セット+コンドーム50個以上

実施した反応)

手記を朗読する人を参加者の中から公募。

のべ7人がHIV陽性者の手記を朗読。



7

## Rainbow Board Game SENDAI

新規

### プログラムの目的・必要性：

セクシュアリティに関係なく入場できるイベントを設定することで、これまで来館していなかった層の初来館を促進する。

対象となる人：多様なセクシュアリティの人、セクシュアリティに無自覚なMSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名

### 実施内容（WEB展開）：

①ボードゲームを用いた交流

②セクシュアリティや性感染症に関する情報提供

Rainbow  
Board Game  
SENDAI



### 結果：

実施日時) 6/12(日)13:00-18:00、8/7(日) 15:00-20:00

参加者数) 24人(初来場10人)

実施した反応)

みやぎにじいろパレードの実施日に合わせたことで

パレード参加者やパレードのボランティアが来場した。

8

## R-35 35歳からのゲイライフ

継続：  
2011年から

### プログラムの目的・必要性：

HIV検査の受検経験も低い中高年向けの交流会を実施し、中高年が関心を持つ話題であるライフプランやセクシュアルヘルスに関する話題を提供する。

対象となる人：主に35歳以上の中高年MSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名



### 実施内容（WEB展開）：

- ①参加者自己紹介
- ②参加者からの話題提供
- ③セクシュアルヘルス等の情報提供



### 結果：

実施日時) 4/16(土)19:00-20:30、7/2(土) 19:00-20:30、  
9/19(月・祝)18:00-19:30、1/14(土)18:00-19:30

参加者数) 32人 (初来場4人)

実施した反応)

大阪distaの『南界堂通信』を配布したことから、参加者からサル痘についての質問があった。

9

## What's "UP"?



新規

### プログラムの目的・必要性：

HIVや性感染症などについての最新情報をMSMに普及するための勉強会

対象となる人：性感染症などの情報を得たいMSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名、講師



### 実施内容（資料・WEB展開）：

- ①ゲストからのテーマに沿った話題提供
- ②質疑応答

### HIV 陽性者と語ろう

2022年  
10月1日(土)  
19:00~20:30



### 結果：

実施日時) 10/1(土)19:00-20:30 HIV陽性者と語ろう  
12/10(土)18:00-19:00 日本エイズ学会参加報告会  
(2/23(木・祝)18:00-19:30 PrEP)

参加者数) 23人 ※オンライン6人を含む (初来場2人)

実施した反応)

日本エイズ学会参加報告会については、他団体の相談担当者などの参加もあり「最新の話で知らない情報もあり参考になった」などの感想があった。

10

# community center ZEL Free Paper

継続：  
2010年から

プログラムの目的・必要性：  
HIV検査受検促進と性感染症等の情報発信、コミュニティセンターの周知を図る啓発資材として、作成・配布  
対象となる施設：  
東北地域MSM向け商業施設約20施設、上野MSM向け商業施設1施設、宮城県・仙台市のエイズ対策担当課、仙台市内の保健所、他地域のセンター  
予算：コミュニティセンター事業費  
その他の投入資源：デザイナー1名、スタッフ1名、ボランティア4名

実施内容（資材・WEB展開）：  
①東北イベント・コミュニティ情報  
②仙台市HIV検査情報  
③特集（センター活動報告、ゆうそう検査情報、世界エイズデーなど）

結果：  
実施日時) 5月、8月、11月、2月発行  
配布数) 各800部



11

# コンドーム配布

継続：  
2010年から

プログラムの目的・必要性：  
コンドーム使用促進  
対象となる施設：  
東北地域MSM向け商業施設約20施設、上野MSM向け商業施設1施設ほか  
予算：コミュニティセンター事業費  
その他の投入資源：ボランティア4名、寄贈コンドーム、寄贈ローション

実施内容（資材展開）：  
アウトリーチ及び発送  
仙台市内の商業施設は3カ月に1回程度。  
その他の東北地域の商業施設は年1回程度。  
※追加配布は商業施設からの要望に合わせて随時対応する。

結果：  
実施日時) 5月、8月、11月、2月および随時  
配布数) 約4,000個  
実施した反応)  
コンドーム配布の際に、店内でコンドーム使用について話題になる。



12

# コンドームまつり

継続：  
2014年から

## プログラムの目的・必要性：

コンドームの形や大きさ、素材について紹介。コンドームの装着方法などの解説もつけて、コンドームの使用促進を図る。

対象となる人：コンドームの使用に関して悩み等を抱えるMSM

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：スタッフ1名

## 実施内容（WEB展開）：

- ①様々な形状、大きさ、素材のコンドームの紹介
- ②コンドームの装着方法の解説
- ③持ち帰り用コンドームの配布（会場）
- ④SNS(VERO)上での同時開催（画像・動画の掲載）

## 結果：

実施日時）6/3(金)～6/14(火)

参加者数）期間中の来場者44人（初来場14人）

実施した反応）VERO:11件投稿。いいね総数272件  
コメントでコンドームへの質問あり



13

# 東北ブロック 「HIV検査担当者向け研修会」

継続：  
2010年から

## プログラムの目的・必要性：

HIV検査の現場における受検者への適切な対応・支援の基盤となる、MSMやセクシュアリティへの理解を深める。

対象となる人：HIV検査担当者（保健師、看護師、医師、検査技師など）

予算：コミュニティセンター事業費

その他の投入資源：講師1名、スタッフ1名、ボランティア3名

## 実施内容（WEB展開）：

- ①センターが行う同性愛者等に対するHIV/エイズの啓発活動
- ②セクシュアリティの基礎及び東北地方の同性愛者等を取り巻く環境
- ③HIV感染症の最新情報
- ④HIV陽性者やその周囲の人たちによる手記のリーディングワーク
- ⑤地域の同性愛者当事者が受検者役を演じる模擬対応「セクシュアリティに配慮した相談実施」ほか

## 結果：

実施日時）8/29(月)13:30-17:00

参加者数）16人（東北六県すべてから参加あり）

実施した反応）

研修後アンケートで、「MSMであることを打ち明けられる雰囲気づくりを大切にしたい」「最新の情報へのアップデートが必要」などの感想があった。

14

# ゆうそう検査

継続：  
2020年から

プログラムの目的・必要性：  
保健所の検査が縮小される中でMSMの検査機会を確保するほか、保健所検査を利用しないMSMへのHIV検査を促進する。  
対象となる人：東北在住のMSM  
予算：コミュニティセンター事業費 / 地方行政事業費  
その他の投入資源：研究費、スタッフ1名



実施内容（資材・WEB展開）：  
①WEB申し込み→自宅または郵便局受取  
②会場での対面配布（盛岡、山形、仙台、郡山）  
③アプリケーション広告での周知（コミュニティセンター事業費 / 地方行政事業費）

結果：  
実施日時）WEB申し込み 10/16(日)～11/15(火)  
対面配布 10/14(金)郡山 10/15(土)盛岡  
10/16(日)山形 10/21(金)～10/25(火)仙台  
配布数）WEB 125件 対面 28件（郡山0件、盛岡1件、山形3件、仙台24件）  
実施した反応）  
仙台的対面配布で陽性となった受検者より治療に繋がった旨、報告あり。

15

# 仙台市市民協働による HIV・性感染症予防啓発及び検査受検促進事業

継続：  
2014年から

プログラムの目的・必要性：  
HIV・性感染症検査が必要な人に対して、必要な検査情報を提供することにより、HIV・性感染症検査の受検及び早期発見を促進すること並びに感染予防方法及びその重要性に関する情報を発信し、予防行動の啓発を図る。  
対象となる人：HIV・性感染症検査が必要な人  
予算：地方行政事業費

実施内容（資材・WEB展開）：  
①仙台HIVネットによる情報提供  
②男性限定検査イベントin仙台の広報  
③MSMを対象とした検査受検促進広告の作成（アプリケーション広告、ポスター・カードの作成）

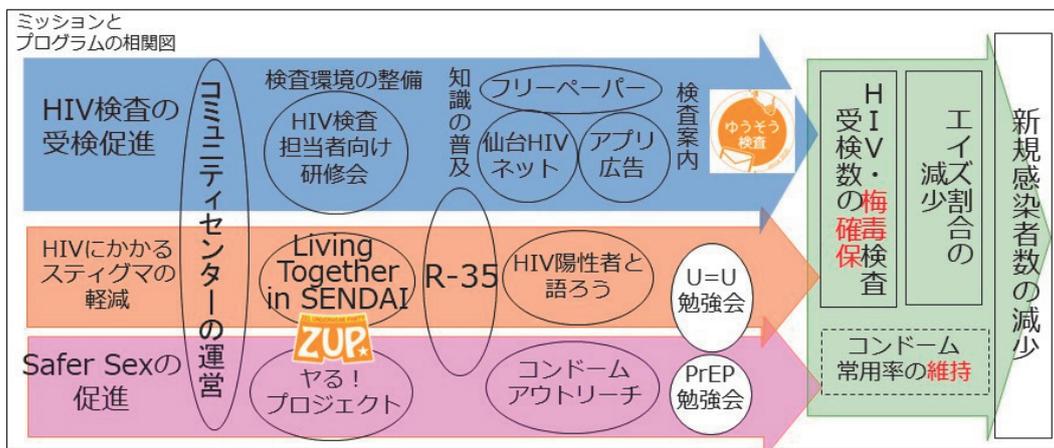


結果：  
①仙台HIVネット アクセス数) 3,135件  
②10/16男性限定検査イベントin仙台 受検者数) 22人  
③ゆうそう検査 利用者数) 153人  
参考：令和3年度仙台市のHIV受検者数に占めるMSM割合17.5%(過去最高)  
令和3年度仙台市HIV検査のMSM受検者数 127人

16

# 2022年度：活動のミッション

活動のミッションや目標：  
 将来的な東北のMSMにおける新規HIV感染者数の減少を目指し、東北・仙台のゲイ・コミュニティを中心にHIV/AIDS・性感染症についての正確な情報を届け、予防行動・検査行動を促す。



# 2023年度：活動のミッション

活動のミッションや目標：  
 将来的な東北のMSMにおける新規HIV感染者数の減少を目指し、東北・仙台のゲイ・コミュニティを中心にHIV/AIDS・性感染症についての正確な情報を届け、予防行動・検査行動を促す。

